

令和2年度 波佐見高等学校 学校関係者評価

<p>1. 教育活動全般について【概ね良好】</p> <p>コロナウイルスの影響で、今後、生徒の家庭の経済状況が大きく変化する可能性がある。返還能力の見極めなど、例年以上に進路指導が難しいのではないかと。</p> <p>→奨学金については、申込期間の延長や対象者の拡大などの対応が行われている。返還能力の見極めは確かに難しいが、できる限り面談等で対応していきたい。</p> <p>波佐見高校が実施しているインターンシップ等の取組は素晴らしいものだと思う。コロナウイルスなど様々に難しい状況はあると思うが、一人でも多く進路実現するために力を尽くしてほしい。職場見学等が難しい中、進路実現ができたことは素晴らしい。今後も、進学者もいずれ就職することを意識した進路指導を行ってほしい。</p> <p>「キャリアパスポート」は、新聞に掲載された記録などが手元に残ることになり、良い取組だと思う。</p> <p>長崎っ子の心を見つめる週間で授業を参観したが、電子黒板が活用され、生徒の反応もよかった。</p>
<p>2. 安全指導・生徒指導等について【概ね良好 ※一部課題あり】</p> <p>自転車通学生について「ながら運転」による事故等が増えているが、保険の加入状況などはいかがか。また、安全指導をどのように行っているか。</p> <p>→自転車事故や保険の情報は提供しているが、どの保険会社がよいなどは斡旋となるので伝えていない。安全指導は、年度初めに通学手段別に集会を行っている。また、必要に応じて注意喚起のために集会を行っている。今後も注意喚起を徹底する。</p> <p>日没後、改善センターで自家用車での送迎待つ時、街灯がなく暗いと聞いた。特に冬場、女子生徒の安全対策としても、街灯やベンチなど、待てる環境づくりを意識し申入れを検討してはどうか。</p> <p>→状況を確認し、対応を検討する。</p>
<p>3. 地域と連携した学校の在り方について【今後の課題：地域連携の更なる充実】</p> <p>県立高校改革について、H17に翔南が総合学科になった。発表から2年で島原南と有馬商業がなくなった。県から「無くす」と言われる前に手を打つ必要がある。教員は異動があるため、町の間が本気にならなくてはならない。野球や美工科、さらには駅伝など、学校の存続をかけて、町へ発信していきたい。</p> <p>波佐見町は波佐見焼を通して世界とつながろうとしている。世界とつながる人材育成のため、町が本気になり、波佐見高校を盛り上げたい。</p> <p>→地域における学校の役割をあらためて考え、ニーズにこたえられるよう努めたい。</p>